

調査計画

1 調査の名称

国際航空旅客動態調査（日本人旅客用）（☐特定一般統計調査 ☒その他の一般統計調査）

2 調査の目的

本調査は、国際航空旅客の個人属性・国内流動・国際流動・アクセス交通機関及び空港選択理由等を把握し、国際航空旅客の総合的な動態を捉え、国際航空旅客の需要動向予測、空港アクセス手段の分析等のための基礎資料を作成することを目的とする。

3 調査対象の範囲

（1）地域的範囲（☒全国 ☐その他）

（2）属性的範囲

（☒個人 ☐世帯 ☐事業所 ☐企業・法人・団体 ☐地方公共団体 ☐その他）

国際線定期便が就航する国内の全空港（共用空港を含む。）から出国する日本人（ただし、就学以前の幼児は除く）

（ただし令和3年度においては、「国際線定期便が運航し、緊急事態措置又はまん延防止等重点措置の実施区域に所在せず、かつ調査実施の承諾を受けた国内の全空港（共用空港を含む。）から出国する日本人（ただし、就学以前の幼児は除く）」とする。）

4 報告を求める個人又は法人その他の団体

（1）報告者数

約 12,000 人

（母集団の大きさ：約 820,000 人（平成 30 年度国際航空旅客動態調査の実績））

（ただし、令和 3 年度においては、約 5,300 人（母集団の大きさ：約 25,000 人（見込み））

（2）報告者の選定方法（☐全数 ☒無作為抽出（☐全数階層あり） ☐有意抽出）

調査実施期間に調査対象空港を利用した日本人出国旅客から、出国手続き後の待合室及びサテライト等において、委託を受けた民間事業者の調査員が無作為抽出して面接調査を行う。

なお、年間拡大後の集計結果が統計的に有意となるように、予め空港ごとに目標サンプル数を定めることとし、これを目処に報告者を選定する。詳細は、別添 1「目標サンプル数の設定について」を参照（ただし、令和 3 年度においては、別添 3「令和 3 年度国際航空旅客動態調査目標サンプル数の算定」を参照）。

5 報告を求める事項及びその基準となる期日又は期間

(1) 報告を求める事項

出発便名、座席のクラス、居住地、旅行目的、空港までのアクセスにかかる交通手段・自宅からの所要時間、空港選択理由、旅行先での経路・旅行日数、旅行形態、航空券の種類・料金、性別・年齢・職業・年収、PCR 等検査の受診の有無・受診場所

〔集計しない事項の有無〕 無 ☒ 有 ☐

(2) 基準となる期日又は期間

毎年 8 月及び 11 月に国土交通省が定める日（1 回 2 日～1 週間程度）の内容について報告する（ただし令和 3 年度は、令和 4 年 1 月における内容についても報告する。）。

※調査日は天候不順等により翌月まで順延する可能性がある。

6 報告を求めるために用いる方法

(1) 調査系統

国土交通省－民間事業者－報告者

(2) 調査方法

☐ 郵送調査 ☐ オンライン調査（☐ 政府統計共同利用システム ☐ 独自のシステム
☐ 電子メール） ☒ 調査員調査 ☐ その他（ ）

〔調査方法の概要〕

調査は、国土交通省が業務を委託した民間事業者の調査員が無作為抽出し、他計及び空港ラウンジにおいては自計により調査を行う。

＜民間事業者に委託する主な業務内容＞

- ① 調査票等の複製や翻訳、調査員の配置の計画、関係者との調整
- ② アンケート調査とその結果の打ち込み、有効サンプルの抽出
- ③ 週間拡大作業
- ④ 調査結果の年間拡大作業

7 報告を求める期間

(1) 調査の周期

☐ 1 回限り ☐ 毎月 ☐ 四半期 ☒ 1 年 ☐ 2 年 ☐ 3 年 ☐ 5 年 ☐ 不定期
☐ その他（ ）（1 年を超える場合又は不定期の場合の直近の実施年： 年）

(2) 調査の実施期間又は調査票の提出期限

調査は、毎年 8 月及び 11 月に国土交通省が定める日（1 回 2 日～1 週間程度）に行う（ただし令和 3 年度は、令和 4 年 1 月の国土交通省が定める日についても、調査を行う。）。調査票は、調査を始める際にその場で示され、終了した際にその場で提出される。

※調査日は天候不順等により翌月まで順延する可能性がある。

8 集計事項

別添2「集計事項一覧」のとおり

9 調査結果の公表の方法及び期日

- (1) 公表・非公表の別 (■全部公表 □一部非公表 □全部非公表)
- (2) 公表の方法 (■e-Stat □インターネット (e-Stat 以外) □印刷物 □閲覧)
- (3) 公表の期日

速報については調査実施翌年の10月末までに、確報については調査実施翌々年の3月末までに公表する(ただし令和3年度は、速報については令和4年10月末までに、確報については令和5年3月末までに公表する。)

10 使用する統計基準

- 使用する→□日本標準産業分類 □日本標準職業分類 □その他 ()
- 使用しない

本調査は、国際航空の旅客を対象とした調査であり、調査対象の範囲の画定及び集計結果の表示に統計基準を用いる余地が小さいことから、いずれの統計基準も使用しない。

11 調査票情報の保存期間及び保存責任者

- (1) 調査票情報の保存期間
 - a) 記入済み調査票：1年
 - b) 調査票の内容を記録した電磁的記録媒体：常用
 - c) 当該統計調査の業務の一環として調査票情報を転記することにより作成する書類：なし
- (2) 保存責任者

国土交通省航空局航空ネットワーク部空港計画課長

調査計画

1 調査の名称

国際航空旅客動態調査（外国人旅客用）（☐特定一般統計調査 ☒その他の一般統計調査）

2 調査の目的

本調査は、国際航空旅客の個人属性・国内流動・国際流動・アクセス交通機関及び空港選択理由等を把握し、国際航空旅客の総合的な動態を捉え、国際航空旅客の需要動向予測、空港アクセス手段の分析等のための基礎資料を作成することを目的とする。

3 調査対象の範囲

（1）地域的範囲（☒全国 ☐その他）

（2）属性的範囲

（☒個人 ☐世帯 ☐事業所 ☐企業・法人・団体 ☐地方公共団体 ☐その他）

国際線定期便が就航する国内の全空港（共用空港を含む。）から出国する外国人（ただし、就学以前の幼児は除く）

（ただし令和3年度においては、「国際線定期便が運航し、緊急事態宣言措置又はまん延防止等重点措置の実施区域に所在せず、かつ調査実施の承諾を受けた国内の全空港（共用空港を含む。）から出国する外国人（ただし、就学以前の幼児は除く）」とする。）

4 報告を求める個人又は法人その他の団体

（1）報告者数

約 22,000 人

（母集団の大きさ：約 1,060,000 人（平成 30 年度国際航空旅客動態調査の実績））

（ただし、令和 3 年度においては、約 5,900 人（母集団の大きさ：約 28,000 人（見込み））

（2）報告者の選定方法（☐全数 ☒無作為抽出（☐全数階層あり） ☐有意抽出）

調査実施期間に調査対象空港を利用した外国人出国旅客から、出国手続き後の待合室及びサテライト等において、委託を受けた民間事業者の調査員が無作為抽出して面接調査を行う。

なお、年間拡大後の集計結果が統計的に有意となるように、予め空港ごとに目標サンプル数を定めることとし、これを目処に報告者を選定する。詳細は、別添 1「目標サンプル数の設定について」を参照（ただし、令和 3 年度においては、別添 3「令和 3 年度国際航空旅客動態調査目標サンプル数の算定」を参照）。

5 報告を求める事項及びその基準となる期日又は期間

(1) 報告を求める事項

出発便名、座席のクラス、目的地・経由地、旅行目的、旅行形態、航空券の種類・料金、空港までのアクセスにかかる交通手段、空港選択理由、旅行日数・訪問国数、入国時の出発地・入国空港、入国直前の訪問地・経由空港、日本での訪問地・移動交通機関・宿泊日数・滞在日数、国籍・性別・年齢・職業・年収、日本居住者か否か、PCR 等検査の受診の有無・受診場所

〔集計しない事項の有無〕 無 ☒ 有 ☐

(2) 基準となる期日又は期間

毎年 8 月及び 11 月に国土交通省が定める日（1 回 2 日～1 週間程度）の内容について報告する（ただし令和 3 年度は、令和 4 年 1 月における内容についても報告する。）。

※調査日は天候不順等により翌月まで順延する可能性がある。

6 報告を求めるために用いる方法

(1) 調査系統

国土交通省－民間事業者－報告者

(2) 調査方法

☐ 郵送調査 ☐ オンライン調査（☐ 政府統計共同利用システム ☐ 独自のシステム
☐ 電子メール） ☒ 調査員調査 ☐ その他（ ）

〔調査方法の概要〕

調査は、国土交通省が業務を委託した民間事業者の調査員が無作為抽出し、自計により調査を行う。

＜民間事業者に委託する主な業務内容＞

- ① 調査票等の複製や翻訳、調査員の配置の計画、関係者との調整
- ② アンケート調査とその結果の打ち込み、有効サンプルの抽出
- ③ 週間拡大作業
- ④ 調査結果の年間拡大作業

7 報告を求める期間

(1) 調査の周期

☐ 1 回限り ☐ 毎月 ☐ 四半期 ☒ 1 年 ☐ 2 年 ☐ 3 年 ☐ 5 年 ☐ 不定期
☐ その他（ ）（1 年を超える場合又は不定期の場合の直近の実施年： 年）

(2) 調査の実施期間又は調査票の提出期限

調査は、毎年 8 月及び 11 月に国土交通省が定める日（1 回 2 日～1 週間程度）に行う（ただし令和 3 年度は、令和 4 年 1 月の国土交通省が定める日についても、調査を行う。）。調査票は、調査を始める際にその場で示され、終了した際にその場で提出される。

※調査日は天候不順等により翌月まで順延する可能性がある。

8 集計事項

別添2「集計事項一覧」のとおり

9 調査結果の公表の方法及び期日

- (1) 公表・非公表の別 (■全部公表 □一部非公表 □全部非公表)
- (2) 公表の方法 (■e-Stat □インターネット (e-Stat 以外) □印刷物 □閲覧)
- (3) 公表の期日

速報については調査実施翌年の10月末までに、確報については調査実施翌々年の3月末までに公表する (ただし令和3年度は、速報については令和4年10月末までに、確報については令和5年3月末までに公表する。)。

10 使用する統計基準

- 使用する→□日本標準産業分類 □日本標準職業分類 □その他 ()
- 使用しない

本調査は、国際航空の旅客を対象とした調査であり、調査対象の範囲の画定及び集計結果の表示に、統計基準を用いる余地が小さいことから、いずれの統計基準も使用しない。

11 調査票情報の保存期間及び保存責任者

- (1) 調査票情報の保存期間
 - a) 記入済み調査票：1年
 - b) 調査票の内容を記録した電磁的記録媒体：常用
 - c) 当該統計調査の業務の一環として調査票情報を転記することにより作成する書類：なし
- (2) 保存責任者

国土交通省航空局航空ネットワーク部空港計画課長

調査計画

1 調査の名称

国際航空旅客動態調査（通過・乗換旅客用）

（☐特定一般統計調査 ☒その他の一般統計調査）

2 調査の目的

本調査は、国際航空旅客の個人属性・国内流動・国際流動・アクセス交通機関及び空港選択理由等を把握し、国際航空旅客の総合的な動態を捉え、国際航空旅客の需要動向予測、空港アクセス手段の分析等のための基礎資料を作成することを目的とする。

3 調査対象の範囲

（1）地域的範囲（☒全国 ☐その他）

（2）属性的範囲

（☒個人 ☐世帯 ☐事業所 ☐企業・法人・団体 ☐地方公共団体 ☐その他）

成田国際空港・関西国際空港・東京国際空港を経由する通過・乗換旅客（ただし、就学以前の幼児は除く）

（ただし、令和3年度においては、「成田国際空港・関西国際空港・東京国際空港のうち、緊急事態宣言措置又はまん延防止等重点措置の実施区域に所在しない空港を経由する通過・乗換旅客（ただし、就学以前の幼児は除く）」とする。）

4 報告を求める個人又は法人その他の団体

（1）報告者数

約2,000人（母集団の大きさ：約75,000人（平成30年度国際旅客動態調査の実績））

（ただし、令和3年度においては、約1,600人（母集団の大きさ：約3,700人（見込み））

（2）報告者の選定方法（☐全数 ☒無作為抽出（☐全数階層あり） ☐有意抽出）

調査実施期間に調査対象空港を利用したトランジット旅客から、出国手続き後の待合室及びサテライト等において、委託を受けた民間事業者の調査員が無作為抽出して面接調査を行う。

なお、年間拡大後の集計結果が統計的に有意となるように、予め空港ごとに目標サンプル数を定めることとし、これを目処に報告者を選定する。詳細は、別添1「目標サンプル数の設定について」を参照（ただし、令和3年度においては、別添3「令和3年度国際航空旅客動態調査目標サンプル数の算定」を参照）。

5 報告を求める事項及びその基準となる期日又は期間

(1) 報告を求める事項

旅行目的、旅行形態、乗り継ぎ経路（直前の国・都市・空港・便名、直後の国・都市・空港・便名）、到着・出発便名、乗り継ぎ理由・乗り継ぎ空港選択理由、乗り継ぎ時間、往復での当該空港の利用状況、国籍・性別・年齢・職業、PCR等検査の受診の有無・受診場所
〔集計しない事項の有無〕 無 ☒ 有 ☐

(2) 基準となる期日又は期間

毎年8月及び11月に国土交通省が定める日（1回2日～1週間程度）の内容について報告する（ただし令和3年度は、令和4年1月における内容についても報告する。）。
※調査日は天候不順等により翌月まで順延する可能性がある。

6 報告を求めるために用いる方法

(1) 調査系統

国土交通省－民間事業者－報告者

(2) 調査方法

☐ 郵送調査 ☐ オンライン調査（☐ 政府統計共同利用システム ☐ 独自のシステム
☐ 電子メール） ☒ 調査員調査 ☐ その他（ ）

〔調査方法の概要〕

調査は、国土交通省が業務を委託した民間事業者の調査員が無作為抽出し、日本人旅客については他計により、外国人旅客については自計により、それぞれ調査を行う。

＜民間事業者に委託する主な業務内容＞

- ① 調査票等の複製や翻訳、調査員の配置の計画、関係者との調整
- ② アンケート調査とその結果の打ち込み、有効サンプルの抽出
- ③ 週間拡大作業
- ④ 調査結果の年間拡大作業

7 報告を求める期間

(1) 調査の周期

☐ 1回限り ☐ 毎月 ☐ 四半期 ☒ 1年 ☐ 2年 ☐ 3年 ☐ 5年 ☐ 不定期
☐ その他（ ）（1年を超える場合又は不定期の場合の直近の実施年： 年）

(2) 調査の実施期間又は調査票の提出期限

調査は、毎年8月及び11月に国土交通省が定める日（1回2日～1週間程度）に行う（ただし令和3年度は、令和4年1月の国土交通省が定める日についても、調査を行う。）。調査票は、調査を始める際にその場で示され、終了した際にその場で提出される。

※調査日は天候不順等により翌月まで順延する可能性がある。

8 集計事項

別添2「集計事項一覧」のとおり

9 調査結果の公表の方法及び期日

- (1) 公表・非公表の別 (■全部公表 □一部非公表 □全部非公表)
- (2) 公表の方法 (■e-Stat □インターネット (e-Stat 以外) □印刷物 □閲覧)
- (3) 公表の期日

速報については調査実施翌年の10月末までに、確報については調査実施翌々年の3月末までに公表する(ただし令和3年度は、速報については令和4年10月末までに、確報については令和5年3月末までに公表する。)

10 使用する統計基準

- 使用する→□日本標準産業分類 □日本標準職業分類 □その他 ()
- 使用しない

本調査は、国際航空の旅客を対象とした調査であり、調査対象の範囲の画定及び集計結果の表示に、統計基準を用いる余地が小さいことから、いずれの統計基準も使用しない。

11 調査票情報の保存期間及び保存責任者

- (1) 調査票情報の保存期間
 - a) 記入済み調査票：1年
 - b) 調査票の内容を記録した電磁的記録媒体：常用
 - c) 当該統計調査の業務の一環として調査票情報を転記することにより作成する書類：なし
- (2) 保存責任者

国土交通省航空局航空ネットワーク部空港計画課長

目標サンプル数の設定について

出国旅客アンケートの抽出率

アンケート調査は前回同様、一年間のうち8月（ピーク時）と11月（オフピーク時）の1週間ずつの計2週間を対象とする。この2週間の平均が年間の流動を表していると仮定しているため、年間値としての精度を確保するためには、各週の調査精度を確保することが必要である（※）。

そこで、サンプル抽出率を、週間の母数と相対誤差・信頼区間・カテゴリー数の関係から下式により空港別に設定する。

$$RSD = K \times \sqrt{(ZK - 1) \times \frac{1-r}{r} \times \frac{1}{N}}$$

R S D : 相対誤差

K : 信頼区間の定数

(信頼度 95% のとき 1.96 ・ 信頼度 90% のとき 1.64)

Z K : カテゴリー数

r : 抽出率

N : 母集団総数

ここで、上式の信頼度・相対誤差 R S D ・ カテゴリー数 Z K を空港ごとに下の表 1 のように設定する。

表 1 抽出率算定指標

空 港	信頼度	相対誤差 R S D	カテゴリー数 Z K
成田・羽田	95%	0.20	目的 2 × 国籍 2 × 発地 4 × 行先 2 = 32
関西・中部	95%	0.20	目的 2 × 国籍 2 × 発地 3 × 行先 2 = 24
福 岡	90%	0.20	目的 2 × 国籍 2 × 発地 3 × 行先 1 = 12
そ の 他	90%	0.20	目的 1 × 国籍 2 × 発地 3 × 行先 1 = 6

抽出率算定式から必要サンプル数を試算する作業は、請負業者により行われる。

参考までに平成30年度調査においては、表2のように目標サンプル数を得ている。なお、地方空港のように週当たり便数の少ない空港で前記算定式を用いて抽出率rを算定すると、1便当たりの旅客に対する抽出率が60%近くになってしまう。しかし、もともと旅客の特性に偏りのある特定の1便に対してだけ抽出率を高く設定しても統計的に意味がない。そこで1便当たりのサンプル数の最高限度を定めて、それ以上のサンプルは採取しないこととする。

1便当たりのサンプル数の最高限度は、投入する調査員の数等から決まる調査の効率等を勘案して30サンプルとする。抽出率算定式を用いて算定されるサンプル数Fと1便当たりのサンプル数の最高限度より算定されるサンプル数Hとを比較して、小さい方の数を採用し、さらに日本人・外国人比率を考慮して最終サンプル数K及びLを設定する。ただし、ここで設定した目標サンプル数が便数×30で決まっている場合はそのサンプル数を最低値とし、算定式より求められるサンプル数を目標とする。

表2 空港別目標サンプル数の算定（1週間当たり）（平成30年度調査時）

<ピーク時>													
空港	A 注1 出国者数 (人/年)	B 平均 出国者数 (人/週)	C K (信頼度)	D Z K (95%信頼度)	E 抽出率 (%)	F B * E (人/週)	G 注2 便数 (便/週)	H G * 30 (人/週)	I 注3 サンプル数 (人/週)	J 注4 日本人 割合 (%)	K 日本人 サンプル数 (人/週)	L 注5 外国人 サンプル数 (人/週)	M 目標 サンプル数 (人/週)
成田	14,847,833	285,535	1.96	32	1.0	2,947	1,930	57,900	2,947	46.1	1,360	1,590	2,950
関西	10,962,470	210,817	1.96	24	1.0	2,186	1,285	38,550	2,186	30.8	670	1,520	2,190
中部	2,734,319	52,583	1.96	24	4.0	2,120	349	10,470	2,120	52.8	1,120	1,000	2,120
羽田	8,542,025	164,270	1.96	32	1.8	2,924	817	24,510	2,924	54.4	1,590	1,330	2,920
新千歳	1,764,592	33,934	1.64	6	1.0	333	207	6,210	333	9.3	30	300	330
旭川	28,120	541	1.64	6	38.3	207	5	150	150	1.9	10	140	150
函館	94,136	1,810	1.64	6	15.7	284	14	420	284	3.4	10	270	280
青森	47,035	905	1.64	6	27.1	245	5	150	150	12.0	20	130	150
花巻	11,568	222	1.64	6	60.2	134	2	60	60	6.5	10	50	60
仙台	142,426	2,739	1.64	6	10.9	299	19	570	299	38.7	120	180	300
新潟	58,567	1,126	1.64	6	23.0	259	10	300	259	39.5	100	160	260
百里	54,640	1,051	1.64	6	24.2	255	11	330	255	19.8	50	200	250
富山	57,605	1,108	1.64	6	23.3	258	11	330	258	27.2	70	190	260
小松	104,396	2,008	1.64	6	14.3	288	14	420	288	31.2	90	200	290
静岡	152,452	2,932	1.64	6	10.3	302	20	600	302	22.0	70	230	300
美保	39,880	767	1.64	6	30.5	234	7	210	210	18.6	40	170	210
岡山	137,368	2,642	1.64	6	11.3	298	23	690	298	37.9	110	190	300
広島	167,041	3,212	1.64	6	9.5	304	30	900	304	48.5	150	150	300
山口宇部	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高松	148,442	2,855	1.64	6	10.5	301	20	600	301	22.2	70	230	300
松山	26,472	509	1.64	6	39.8	202	5	150	150	32.3	50	100	150
福岡	3,215,815	61,843	1.64	12	1.2	731	381	11,430	731	27.7	200	530	730
北九州	144,132	2,772	1.64	6	10.8	300	30	900	300	8.7	30	270	300
長崎	26,952	518	1.64	6	39.3	204	5	150	150	17.0	30	120	150
佐賀	97,126	1,868	1.64	6	15.3	285	12	360	285	9.3	30	250	280
熊本	84,812	1,631	1.64	6	17.1	279	11	330	279	9.4	30	250	280
大分	64,295	1,236	1.64	6	21.4	264	7	210	210	5.3	10	200	210
宮崎	56,973	1,096	1.64	6	23.5	257	11	330	257	16.0	40	220	260
鹿児島	167,581	3,223	1.64	6	9.4	304	22	660	304	14.0	40	260	300
那覇	1,826,885	35,132	1.64	6	0.9	333	231	6,930	333	6.5	20	310	330
石垣	42,514	818	1.64	6	29.1	238	8	240	238	5.8	10	230	240
合計	45,848,472	881,701	-	-	1.9	17,575	5,502	165,060	17,164	39.1	6,180	10,970	17,150
													サンプル率 1.9

注1：入国管理局ホームページに掲載されている月別出国者数の合計値（最新の1年間）
ピーク時：平成29年5月～平成30年4月 オフピーク時：平成29年8月～平成30年7月

注2：現時点のダイヤから設定

注3：FとHとのうち小さいサンプル数により決定

注4：入国管理局ホームページに掲載されている月別出国者数の日本人割合

注5：10サンプル未満は切上げて10とし、その他は10未満を四捨五入する。

トランジット旅客アンケートの抽出率

出国旅客と同様の方法で抽出率を設定する。

トランジット旅客についても、抽出率算定式から必要サンプル数を試算する作業は、請負業者により行われる。

信頼度・相対誤差 R S D は出国旅客と同様に 95%・0.20 を用いる（表 3）。
 カテゴリー数については、成田空港では目的 2×国籍 2×行先 2=8、関西空港及び東京国際空港では目的 2×国籍 1×行先 2=4 とする。この結果、目標サンプル数は表 4 のように得られている。

表 3 トランジット旅客アンケート抽出率設定指標

空 港	信 頼 度	相 対 誤 差 R S D	カ テ ゴ リ ー 数 Z K
成 田	95%	0.20	目的 2 × 国籍 2 × 行先 2 = 8
関 西 ・ 羽 田	95%	0.20	目的 2 × 国籍 1 × 行先 2 = 4

表 4 トランジット旅客アンケート目標サンプル数の算定
 （1 週間当たり）（平成 30 年度調査）

<ピーク時>						
空 港	注 1 平成 28 年 トランジット 旅客数（片側） （人／年）	平均 トランジット 旅客数 （人／週）	K （信頼度）	Z K （カテゴリー）	抽出率 （%）	注 2 目標 サンプル数 （人／週）
成 田	2,429,158	46,587	1.96	8	1.4	660
関 西	106,149	2,036	1.96	4	12.4	250
羽 田	132,011	2,532	1.96	4	10.2	260
合 計	2,667,318	51,154	—	—	2.6	1,170

注 1：空港管理調書より
 （ピーク時調査時点では前年度の空港管理調書が掲載されていないため
 前々年度の旅客数で目標設定を行っている）
 注 2：10 サンプル未満四捨五入

I 速報値（週間拡大値）集計事項一覧

別添2

結果表番号 集計事項等		第1表	第2表	第3表	第4表	第5表	第6表	第7表	第8表	第9表	第10表	第11表 (※)	第12表	第13表	第14表	第15表	第16表	第17表	第18表	第19表	第20表	第21表	第22表	第23表	第24表	第25表	第26表	第27表
分類 事項	出国空港	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	居住地	○										○																
	性別		○																									
	年齢			○																								
	職業				○																							
	旅行目的					○																						
	業務目的旅客の出張頻度						○																					
	旅行形態							○																				
	アクセス交通手段								○																			
	代表アクセス交通手段									○																		
	最終アクセス交通手段										○																	
	国内線アクセス状況											○																
	自宅・自宅外出発												○															
	アクセス所要時間													○														
	空港選択理由														○													
	最初の訪問国															○												
	最終目的国																○											
	帰国時出発国																	○	○									
	出国後の経由地と経由の有無																		○									
	帰国時の経由地と経由の有無																			○								
	出入国空港の相違																				○							
	入国空港																					○						
	旅行日数																						○					
	年収																							○				
	座席クラス																								○			
	航空券の種類																									○		
	航空運賃																										○	
	マイレージ利用の有無																											○
集計事項	旅客数	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

(※) 第11表の出国空港は、成田・関西・中部空港に限る。

I 速報値（週間拡大値）集計事項一覧

結果表番号		第 28 表	第 29 表
集計事項等			
分類 事項	出国空港	○	○
	PCR 等検査の実施の有無	○	
	PCR 等検査の実施場所		○
集計 事項	旅客数	○	○

II 確報値（年間拡大値）集計事項一覧

結果表番号 集計事項等		主な集計結果 (※)				出国日本人集計結果																						
		第 1 表	第 2 表	第 3 表	第 6 表	第 1 表	第 2 表	第 3 表	第 4 表	第 5 表	第 6 表	第 7 表	第 8 表	第 9 表	第 10 表	第 11 表	第 12 表	第 13 表	第 14 表	第 15 表	第 16 表	第 17 表	第 18 表	第 19 表	第 20 表	第 21 表	第 22 表	
分類 事項	出国空港	○				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	渡航先（最初の訪問地）		○		○																							
	出発地（居住地）			○													○		○				○	○	○	○		
	経由地				○																						○	
	性別					○																						
	年齢						○																					
	職業							○																				
	旅行目的								○																			
	旅行形態									○																		
	旅行日数										○																	
	年収											○																
	座席クラス												○															
	航空券の種類													○														
	航空運賃														○													
	出国先														○	○		○	○	○							○	
	マイレージ利用の有無															○												
	海外回遊パターン																			○								
	入国空港																				○							
	アクセス交通手段																					○						
	最終アクセス交通手段																						○					
	代表アクセス交通手段																						○					
空港選択理由																									○			
帰国時利用空港																										○		
帰国時出発地																										○		
集計 事項	旅客数	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				○	○	
	国内線利用率																						○					
	アクセス所要時間																							○				
	前日宿泊率																								○			

(※) 主な集計結果の第4表及び第5表は、外国人旅客及び通過・乗換旅客の調査票を集計した結果のため、本表からは除外した。

Ⅱ 確報値（年間拡大値）集計事項一覧

結果表番号 集計事項等		出国日本人 集計結果	
		第 23 表	第 24 表
分類 事項	出国空港	○	○
	PCR 等検査の実施の有無	○	
	PCR 等検査の実施場所		○
集計 事項	旅客数	○	○
	国内線利用率		
	アクセス所要時間		
	前日宿泊率		

I 速報値（週間拡大値）集計事項一覧

別添2

結果表番号		第1表	第2表	第3表	第4表	第5表	第6表	第7表	第8表	第9表	第10表	第11表	第12表	第13表	第14表	第15表	第16表	第17表	第18表	第19表	第20表	第21表	第22表	第23表	第24表	第25表	第26表	第27表	第29表	第30表	第31表	第32表	第33表	第34表
集計事項等																																		
分類事項	出国空港	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	国籍	○																																
	性別		○																															
	年齢			○																														
	職業				○																													
	旅行目的					○																												
	旅行形態						○																											
	個人旅行のグループ人数							○																										
	国内訪問地								○			○																						
	国内最終訪問地									○																								
	宿泊日数										○																							
	滞在日数											○																						
	出入国空港の相違												○																					
	入国空港													○																				
	最初の出発国														○																			
	最終目的国															○																		
	入国前・出国後の立ち寄りの有無																○																	
	入国前の経由地と経由の有無																	○																
	出国後の経由地と経由の有無																		○															
	入国直前の訪問地																			○														
	出国直後の訪問地																				○													
	アクセス交通手段																					○												
	代表アクセス交通手段																						○											
	最終アクセス交通手段																							○										
	旅行日数																								○									
	訪問国数																									○								
	居住地																										○							
	日本居住者の居住地																											○						
	空港選択理由																												○					
	年収																													○				
	座席クラス																														○			
	航空券の種類																															○		
	航空運賃																																○	
	マイル・ジリの有無																																	○
集計事項	旅客数	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

(※) 第28表は、第27表の集計結果を構成比で表示したものであるため、本表からは除外した。

I 速報値（週間拡大値）集計事項一覧

結果表番号		第 35 表	第 36 表
集計事項等			
分類 事項	出国空港	○	○
	PCR 等検査の実施の有無	○	
	PCR 等検査の実施場所		○
集計 事項	旅客数	○	○

II 確報値（年間拡大値）集計事項一覧

結果表番号 集計事項等		主な集計結果					出国外国人集計結果																						
		第1表	第2表	第3表	第4表	第5表	第6表	第1表	第2表	第3表	第4表	第5表	第6表	第7表	第8表	第9表	第10表	第11表	第12表	第13表	第14表	第15表	第16表	第17表	第18表	第19表	第20表	第21表	第22表
分類事項	出国空港	○						○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	
	渡航先		○				○																						
	出発地			○																									
	国籍				○	○		○							○	○	○								○				
	訪問地					○																							
	経由地						○																					○	
	性別								○																				
	年齢									○																			
	職業										○																		
	旅行目的											○																	
	旅行形態												○																
	個人旅行者のグループ人数													○															
	滞在日数														○														
	旅行日数															○													
	訪問国数																○												
	年収																	○											
	座席クラス																		○										
	航空券の種類																			○									
	航空運賃																				○								
	出国先																				○	○							
	マイレージ利用の有無																					○							
	入国直前地																						○						○
	出国直後地																						○						○
	入国空港																						○			○			○
	国内訪問地																							○	○				
	国内最終訪問地																							○					
	宿泊日数																								○				
アクセス交通手段																										○			
最終アクセス交通手段																										○			
代表アクセス交通手段																										○			
空港選択理由																											○		
集計事項	旅客数	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

（※）経由地について、第6表は5区分、第22表は20区分で集計している。

Ⅱ 確報値（年間拡大値）集計事項一覧

集計事項等		結果表番号	出国外国人 集計結果	
			第 23 表	第 24 表
分類 事項	出国空港		○	○
	PCR 等検査の実施の有無		○	
	PCR 等検査の実施場所			○
集計 事項	旅客数		○	○

I 速報値（週間拡大値）集計事項一覧

結果表番号		第1表	第2表	第3表	第4表	第5表	第6表	第7表	第8表	第9表	第10表	第11表	第12表	第13表	第14表	第15表	第16表	第17表
集計事項等																		
分類事項	空港	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	国籍	○																
	性別		○															
	年齢			○														
	職業				○													
	旅行目的					○												
	旅行形態						○											
	立寄り直前国							○		○	○							
	立寄り直後国								○	○		○						
	経由（トランジット）の有無										○	○						
	トランジット理由												○					
	空港選択理由													○				
	空港の往復利用・片道利用														○			
	乗継時間															○		
	PCR 等検査の実施の有無																○	
	PCR 等検査の実施場所																	○
集計事項	旅客数	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

II 確報値（年間拡大値）集計事項一覧

結果表番号 集計事項等		主な集計結果 (※)			トランジット集計結果														
		第 1 表	第 2 表	第 4 表	第 1 表	第 2 表	第 3 表	第 4 表	第 5 表	第 6 表	第 7 表	第 8 表	第 9 表	第 10 表	第 11 表	第 12 表	第 13 表	第 14 表	第 15 表
分類 事項	空港	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	渡航先		○																
	国籍			○	○														
	性別					○													
	年齢						○												
	職業							○											
	旅行目的								○										
	旅行形態									○									
	通過・乗換										○								
	乗換時間											○							
	トランジット理由												○						
	往復利用・片道利用													○					
	直前地														○		○		
	直後地															○	○		
	PCR 等検査の実施の有無																	○	
	PCR 等検査の実施場所																		○
集計 事項	旅客数	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

(※) 主な集計結果の第3表、第5表及び第6表は、日本人及び外国人旅客の調査票を集計した結果のため、本表からは除外した。

令和3年度 国際航空旅客動態調査 目標サンプル数の算定

1 出国日本人・外国人の目標サンプル数の算定

1.1 算定に用いる数値の設定

過年度での方法と今年度の方法を比較して整理する。

	過年度	本年度
1年間の 出国者数	調査実施時点で入国管理局 HP より得られる直近 1 年間の出国者数から下記の抽出率算定式を用いて目標サンプル数を計算。 ○ピーク(8月)昨年5月～今年4月 ○オフピーク(11月)昨年8月～今年7月	調査実施時点で出入国在留管理庁 HP より得られる直近 1 年間の出国者数から下記の抽出率算定式を用いて目標サンプル数を計算。 ○ピーク(8月)R2.6～R3.5(実施済) ○オフピーク(11月)R2.8～R3.7 ○追加調査(1月)R2.10～R3.9

1年間の出国者数（日本人・外国人含む）について、各空港の実績値（算出に用いる令和3年9まで）は以下のとおり。

	R2年度実績値											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1 成田	21,563	15,203	19,994	28,791	38,234	38,167	41,591	45,031	51,646	48,524	31,459	41,865
2 関西	4,060	3,031	3,554	4,889	8,533	7,722	7,035	7,281	9,179	9,137	6,216	7,149
3 中部	25	0	349	607	597	731	1,124	1,176	1,650	921	1,127	957
4 羽田	8,440	5,082	6,870	15,136	21,673	17,663	16,195	15,488	22,141	27,044	13,660	18,559
21 福岡	139	69	69	473	599	463	661	768	1,146	833	866	752
総数	34,227	23,385	30,836	49,896	69,636	64,746	66,606	69,744	85,762	86,459	53,328	69,282

	R3年度(実績値)					
	4月	5月	6月	7月	8月	9月
1 成田	51,613	34,290	39,371	52,028	74,618	51,989
2 関西	8,249	6,214	6,963	6,854	9,486	7,466
3 中部	1,108	1,444	1,077	1,512	1,815	1,406
4 羽田	22,814	19,876	24,912	33,814	54,106	33,842
21 福岡	751	669	771	576	720	749
総数	84,535	62,493	73,094	94,784	140,745	95,452

各調査月の年間出国者数は以下のとおりとなる。

	8月 (実施済)	11月	1月
	R2.6 ～ R3.5	R2.8 ～ R3.7	R2.10 ～ R3.9
1 成田	469,147	513,819	564,025
2 関西	85,126	90,532	91,229
3 中部	11,790	13,424	15,317
4 羽田	214,110	253,839	302,451
21 福岡	7,990	8,855	9,262
総数	788,163	880,469	982,284

※8月の出国者数はR3.7.2時点での入国管理局HPで公開の値
(R2.6～R3.5を用いた)

1.2 目標値の算定

1.1 で設定した数値から目標サンプル数を算定する。目標サンプル数の算定方法は、下記の抽出率算定式を用いる。

抽出率算定式

$$RSD = K \times \sqrt{(ZK - 1) \times \frac{1-r}{r} \times \frac{1}{N}}$$

RSD：相対誤差、K：信頼区間の定数（信頼度 95%のとき 1.96・信頼度 90%のとき 1.64）

ZK：カテゴリー数、r：抽出率、N：母集団総数

信頼度・相対誤差RSD・カテゴリー数ZKは、過年度と同様、空港ごとに下表のように設定した。

空港	信頼度	相対誤差 RSD	カテゴリー数 ZK
成田・羽田	95%	0.20	目的 2×国籍 2×発地 4×行先 2=32
関 西	95%	0.20	目的 2×国籍 2×発地 3×行先 2=24
福 岡	90%	0.20	目的 2×国籍 2×発地 3×行先 1=12
そ の 他	90%	0.20	目的 1×国籍 2×発地 3×行先 1=6

この設定方法により整理した調査各月の目標サンプル数は以下のとおり。

【令和3年8月】

空港	A	B	C	D	E	F
	出国者数 (人／年)	平均 出国者数 (人／週)	K (信頼度)	Z K (カテゴリ)	抽出率 (%)	B * E 目標 サンプル数 (人／週)
成田	469,147	9,022	1.96	32	24.8	2,240
関西	85,126	1,637	1.96	24	57.4	940
中部	11,790	227	1.96	24	90.7	210
羽田	214,110	4,118	1.96	32	42.0	1,730
福岡	7,990	154	1.64	12	82.8	130

【令和3年11月】

空港	A	B	C	D	E	F
	出国者数 (人／年)	平均 出国者数 (人／週)	K (信頼度)	Z K (カテゴリ)	抽出率 (%)	B * E 目標 サンプル数 (人／週)
成田	513,819	9,881	1.96	32	23.2	2,290
関西	90,532	1,741	1.96	24	55.9	970
中部	13,424	258	1.96	24	89.5	230
羽田	253,839	4,882	1.96	32	37.9	1,850
福岡	8,855	170	1.64	12	81.3	140

【令和4年1月】

空港	A	B	C	D	E	F
	出国者数 (人／年)	平均 出国者数 (人／週)	K (信頼度)	Z K (カテゴリ)	抽出率 (%)	B * E 目標 サンプル数 (人／週)
成田	564,025	10,847	1.96	32	21.5	2,340
関西	91,229	1,754	1.96	24	55.7	980
中部	15,317	295	1.96	24	88.2	260
羽田	302,451	5,816	1.96	32	33.9	1,970
福岡	9,262	178	1.64	12	80.6	140

なお、日本人、外国人それぞれの目標数は以下のとおり設定する。

	過年度	本年度
日本人割合	調査実施時点で入国管理局 HP より得られる直近 1 年間の出国者数における日本人割合	過年度と同様。 期間は 1. 1 で示した 1 年間の出国者数と同様。

各調査月の日本人割合の設定値及び日本人・外国人の目標サンプル数は以下のとおり。

【令和 3 年 8 月】

	日本人割合	目標数	
		日本人	外国人
成田	39%	880	1,360
関西	42%	390	550
中部	21%	40	170
羽田	65%	1,110	620
福岡	29%	40	90
合計		2,460	2,790

【令和 3 年 11 月】

	日本人割合	目標数	
		日本人	外国人
成田	39%	880	1,410
関西	42%	410	560
中部	29%	70	160
羽田	64%	1,180	670
福岡	29%	40	100
合計		2,580	2,900

【令和 4 年 1 月】

	日本人割合	目標数	
		日本人	外国人
成田	38%	900	1,440
関西	45%	440	540
中部	36%	90	170
羽田	62%	1,230	740
福岡	32%	50	90
合計		2,710	2,980

1.3 母集団の算定

1.1 で示した 1 年間の出国者数（日本人・外国人含む：再掲）について、各調査月の推計出国者数から母集団を整理する。なお、現時点（令和 3 年 11 月 8 日）では 11 月・1 月の母集団が把握できないことから、母集団の算出に当たって推計値（R2.4～R3.9 の実績値より直線回帰）を用いる。

	R2年度実績値											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1 成田	21,563	15,203	19,994	28,791	38,234	38,167	41,591	45,031	51,646	48,524	31,459	41,865
2 関西	4,060	3,031	3,554	4,889	8,533	7,722	7,035	7,281	9,179	9,137	6,216	7,149
3 中部	25	0	349	607	597	731	1,124	1,176	1,650	921	1,127	957
4 羽田	8,440	5,082	6,870	15,136	21,673	17,663	16,195	15,488	22,141	27,044	13,660	18,559
21 福岡	139	69	69	473	599	463	661	768	1,146	833	866	752
総数	34,227	23,385	30,836	49,896	69,636	64,746	66,606	69,744	85,762	86,459	53,328	69,282

	R3年度(実績値)					R3年度(推計値)						
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月 推計	11月 推計	12月 推計	1月 推計	2月 推計	3月 推計
1 成田	51,613	34,290	39,371	52,028	74,618	51,989	59,523	61,543	63,563	65,583	67,603	69,623
2 関西	8,249	6,214	6,963	6,854	9,486	7,466	8,801	9,008	9,215	9,422	9,629	9,836
3 中部	1,108	1,444	1,077	1,512	1,815	1,406	1,759	1,841	1,923	2,005	2,087	2,169
4 羽田	22,814	19,876	24,912	33,814	54,106	33,842	37,198	38,908	40,617	42,326	44,035	45,744
21 福岡	751	669	771	576	720	749	940	974	1,008	1,042	1,076	1,110
総数	84,535	62,493	73,094	94,784	140,745	95,452	108,221	112,273	116,326	120,378	124,430	128,483

令和 3 年 8 月・11 月・令和 4 年 1 月時点の出国者数から週間値を算出する（各月の出国者数÷月日数（31 又は 30）×7 日）。その後、日本人比率の設定値を基に母集団を算出する。

【令和 3 年 8 月(実績値)】 日本人比率は R3. 8 実績

	8月月間値 (人/月)	週間値 (人/週)	日本人比率		日本人比率
			日本人	外国人	
1 成田	74,618	16,849	6,813	10,037	40%
2 関西	9,486	2,142	1,305	837	61%
3 中部	1,815	410	245	165	60%
4 羽田	54,106	12,217	6,453	5,764	53%
21 福岡	720	163	72	90	44%
合計	140,745	31,781	14,888	16,893	—

【令和 3 年 11 月(推計値)】 日本人比率は R2. 8～R3. 7

	11月月間値 (人/月)	週間値 (人/週)	日本人比率		日本人比率
			日本人	外国人	
1 成田	61,543	14,360	5,538	8,822	39%
2 関西	9,008	2,102	886	1,215	42%
3 中部	1,841	430	123	306	29%
4 羽田	38,908	9,078	5,802	3,277	64%
21 福岡	974	227	67	160	29%
合計	112,273	26,197	12,416	13,781	—

【令和 4 年 1 月(推計値)】 日本人比率は R2. 10～R3. 9

	1月月間値 (人/月)	週間値 (人/週)	日本人比率		日本人比率
			日本人	外国人	
1 成田	65,583	14,809	5,701	9,108	38%
2 関西	9,422	2,128	952	1,175	45%
3 中部	2,005	453	163	290	36%
4 羽田	42,326	9,557	5,947	3,610	62%
21 福岡	1,042	235	75	160	32%
合計	120,378	27,182	12,839	14,343	—

2 トランジット旅客の目標値の設定

2.1 算定に用いる数値の設定

過年度での方法と今年度の方法を比較して整理する。

	過年度	本年度
1年間のトランジット旅客数	空港管理状況調書での直近1年間のトランジット旅客数 ピーク(8月) :前々年の暦年でのトランジット旅客数 オフピーク(11月) :前年の暦年でのトランジット旅客数	空港管理状況調書での直近1年間の年度単位のトランジット旅客数 (R2.4~R3.3) ※別紙のとおり、令和2年1月から3月は、コロナ禍の影響を受ける前の旅客数を含むため

1年間のトランジット旅客数について、各空港の実績値は以下のとおり。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	R2年度合計
成田	11,005	12,026	17,127	20,915	22,364	17,192	17,735	16,804	19,214	16,780	12,810	14,415	198,387
関西	3	209	268	499	336	73	37	46	13	30	6	93	1,613
羽田	2,323	2,023	2,220	3,474	3,360	3,327	3,339	2,389	2,729	3,086	2,385	2,804	33,459

2.2 目標値の算定

設定した数値から目標サンプル数を設定する。目標サンプル数の設定方法は例年と同様とする。なお、P.1に記載する抽出率算定式を用いる。

信頼度・相対誤差RSD・カテゴリ数ZKは、過年度と同様、空港ごとに下表のように設定した。

図表 2-1 抽出率算定指標

空港	信頼度	相対誤差 RSD	カテゴリ数 ZK
成田	95%	0.20	目的 2×国籍 2×行先 2=8
関西・羽田	95%	0.20	目的 2×国籍 1×行先 2=4

算定した目標値は以下のとおり。

なお、8月・11月・1月それぞれの目標サンプル数算出の基となる年間実績が同一であることから、各調査月の目標サンプル数は同数となる。

【令和3年8月・11月・令和4年1月】

空 港	トランジット 旅客数(片側) (人/年)	平均 トランジット 旅客数 (人/週)	K (信頼度)	ZK (カテゴリ)	抽出率 (%)	目標 サンプル数 (人/週)
成 田	198,387	3,805	1.96	8	15.0	570
関 西	1,613	31	1.96	4	90.3	30
羽 田	33,459	642	1.96	4	31.0	200
合 計	233,459	4,477	—	—	17.9	800

2.3 母集団の算定

調査各月の出国者数推計値から母集団を整理する。

なお、トランジットでの出国者数実績は令和3年4月までしか確認できておらず、データ収集可能な令和3年4月までの直近半年間での出国者数をもとに推計を行う。

	令和2年			令和3年											
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
成田	17,735	16,804	19,214	16,780	12,810	14,415	13,191	12,305	11,419	10,533	9,647	8,761	7,874	6,988	6,102
関西	37	46	13	30	6	93	55	60	65	70	75	80	86	91	96
羽田	3,339	2,389	2,729	3,086	2,385	2,804	4,859	2,489	2,423	2,356	2,289	2,223	2,156	2,090	2,023

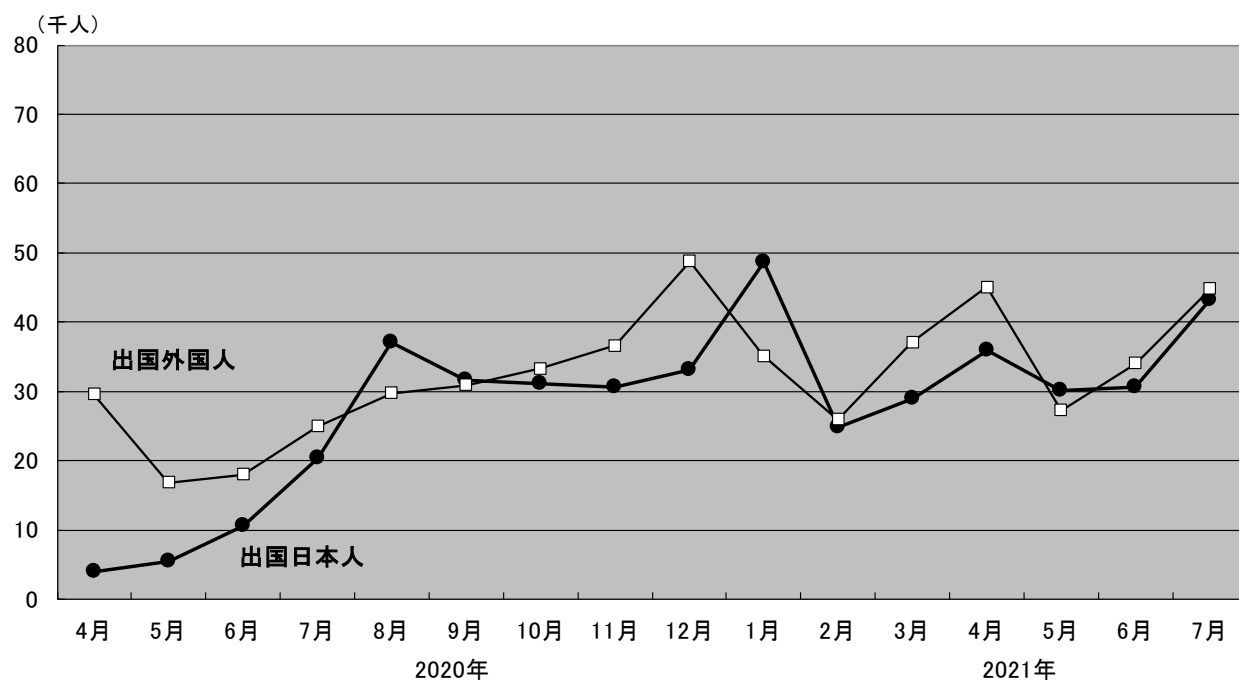
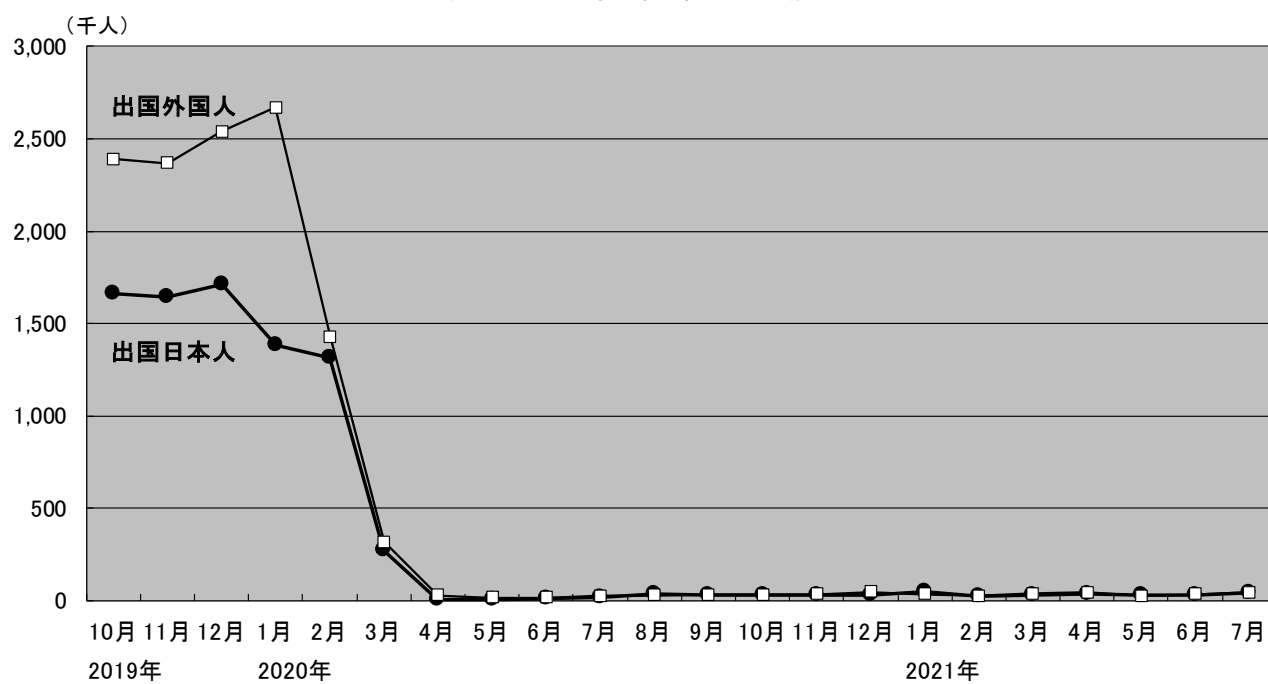
	令和4年		
	1月	2月	3月
成田	5,216	4,330	3,444
関西	101	106	111
羽田	1,957	1,890	1,823

※斜体は推計値

各調査月の母集団の推計結果は以下のとおり。

		8月		11月		1月	
		月間 (人/月)	週間 (人/週)	月間 (人/月)	週間 (人/週)	月間 (人/月)	週間 (人/週)
1	成田	9,647	2,178	6,988	1,578	5,216	1,178
2	関西	75	17	91	20	101	23
4	羽田	2,289	517	2,090	472	1,957	442
	合計	12,012	2,712	9,168	2,070	7,273	1,642

月別の出国者数の比較



国際航空旅客動態調査 過去に実施した調査の回収率（平成 27 年度～令和元年度）

年度	回収標本数 (A)	配布標本数 (B)	回収率 (A/B)
平成 27 年度	36, 382	36, 382	100
平成 28 年度	36, 490	36, 490	100
平成 29 年度	36, 380	36, 380	100
平成 30 年度	38, 212	38, 212	100
令和元年度	38, 718	38, 718	100

※A 欄の回収標本数については有効回答数を示す